



2006.7.1



マーク制作: 関知磨子 (秋津コミュニティ: 蚊帳の海一座)

(融合研のホームページ) <http://www.yu-go.info/>

(事務局) 〒273-0122 千葉県佐倉市中志津7-17-4 (TEL & FAX) 043-463-1929

本号の内容

巻頭言 : 宮崎稔会長 「第10回融合フォーラム in 東京大会に向けて」

- 1 「第10回融合フォーラム in 東京」最終案
- 2 融合研の会計年度が7月～6月というように変更になります。
- 3 通信による総会の案内
東京フォーラムに参加できない方は、紙上およびホームページでの参加・意思表示ができます。
印刷物会員は、同封の葉書で返送してください。
メール会員は、ホームページから返信してください。
- 4 会員継続の更新
- 5 「ゆうこう地域子ども教室」の概要
- 6 その他
2009年度以降のフォーラム開催の立候補を受け付けます

巻頭言

巻頭言 「第10回融合フォーラム in 東京大会に向けて」

融合研会長 宮崎稔

「駕籠に乗る人、担ぐ人、そのまた草鞋を作る人」。融合研の活動を見ているとまさにその言葉がピッタリだなあと感じます。

5月に行われた千葉支部大会は、上農支部長が都合で遅れることになりました。受付名簿は、支部長の手元です。するとすかさず種田会員が、自分のノートを開いて線を引き、急ごしらえで受付名簿を作り、誰に言われる訳でも無く「懇親会費や宿泊費は、支部長が来てからでも間に合うからね。」という判断で、会費の1000円のみを徴収する受付係を始めました。岸副会長は、机を並べ替えて会場作り。佐竹会員は、マイクやビデオ・パソコンの点検。宮崎雅子事務局長は、広い建物のため「会場が分かりにくいから。」と入り口で参加者らしき人に声を掛けて会場案内係を・・・、というように、それぞれが自分の「勝手な」判断で、しかしそれがすべて「いい加減で」進行していくのです。事前準備に時間をかけ、役割をこなしていくやり方のガチガチの人も教育行政にいますが、融合研の活動の源泉は、こういった主体的な動きなのだと思います。融合研は、凄い人たちの集まりだなあといつも感動するばかりです。

それは、東京大会実行委員会とくに顕著です。発足から10年を迎えて開催される融合研は、一人一人が自分の主体的な考えで行動することを旨として活動し、それが自分たちでつくる会になっているのかもしれませんが。東京大会は、フォーラムの内容についてももちろん見所・聞き所そして参加のし所が満載ですが、こういった人の動きについて気に掛けて見てみるのもおもしろいかもかもしれません。融合研は、会として「これが学社融合だ」という定義をしません。そして、どの人

も発展途上の会員です。全ての会員が、それぞれの中に定義をつくれればよいのです。学社融合同様に、融合研も「目的ではなく、手段」であると思います。生涯学習としての学習機会です。融合研を通して、自分の生き方のプログラムを作ればよいのだと考えます。どうぞ、すべての参加者が自分の問題として参加して、じゅうぶんに楽しんでいただきたいと思います。

期待してください。

第10回融合フォーラム in 東京」(最終案)

1 趣 旨

1997年5月、秋津小学校の実践「学校と地域のかろやかな連携」が、読売教育賞受賞したのを機に始まった融合フォーラムは、これまでに全国各地で実践発表を中心に9回開催され、「地域活動の掘り起こし・活性化」に寄与してきました。

そこで、10回目の今大会は、これまでの大会や活動を振り返るとともに、今後の更なる一歩を踏み出すために、「学社融合とは何か」を問い直し、「その目指すものは何か」また、「その進め方」について参加者全員で考え、「学社融合の内容の深化」を図るものにしていきたいと思ひます。

そして、「いつでも、どこでも、だれでも」が、明日からの学校や地域の活動に楽しく係わることができることを願ひ、本大会を開催します。

2 名 称 第10回融合フォーラム in 東京

3 テーマ 学校が変わる・地域が変わる・そして私が変わる学社融合
～学社融合の10年の歩みと今後を探る～

4 主 催 学校と地域の融合教育研究会

5 後 援 (順不同)

文部科学省委託「地域子ども教室融合研運営協議会」

ESD-J(国連持続可能な開発のための教育の10年推進会議) 日本教育新聞社

こども環境学会 日本世代間交流協会 (財)さわやか福祉財団 (社)農山漁村文化協会

(社)日本青年奉仕協会 (財)全日本社会教育連合会 (財)日本レクリエーション協会

申請予定 ; 朝日新聞社・読売新聞社・毎日新聞社

6 日 時 2006年8月19日(土) 13:00～20日(日) 12:00

7 会 場 日本青年館

発表資料・せり市用名産品も上記会場で受け付けます。

1. **8月18日(金)必着**でお送り下さい

2. 資料はA4版を原則とします。各自で印刷してお送り下さい。

3. 宛先の横に、「融合フォーラム in 東京 2006」とご記入下さい。

8 日 程

《1日目》

12:30 受付

13:00～13:10 開会行事

13:15～14:45

(1) 映像で振り返る学社融合の10年

キャリア教育、子供の安心・安全、食育、学校施設開放・学校図書館ボランティア、子どもの居場所等

(2) 趣旨説明

(3) パネルディスカッション 「学社融合の10年の歩みと今を語る」 成果と課題の明確化
コーディネーター：渡辺喜久(静岡県中学校長・融合研副会長)

パネラー：宮崎 稔（千葉県・小学校長・融合研会長）
岸 裕司（千葉県・秋津コミュニティ顧問・融合研副会長）
野澤令照（仙台市・小学校長・融合研副会長）
庄子平弥（仙台市・融合研相談役・ゆうごう子ども教室実行委員会会長）

15:00～17:30 分散会「私と学社融合」

「私なりの取り組み」を大いに語り合しましょう。

分散会で、発表資料を配布の方は、30部ご用意ください。

コーディネーター：青木信二、車育子、戸叶俊文、城佐知子、江口勝善、中川洋太

18:30～20:30 セリ市・懇親会

《2日目》

8:45 受付

9:15～11:15 シンポジウム「学社融合の未来を探る」

コーディネーター：越田幸洋（栃木県・学社融合研究所）

シンポジスト：矢吹正徳（東京都・報道機関）

渡部恒久（北海道・社会教育主事）

針生英一（仙台市・会社経営）

渡邊真智子（栃木県・学校支援地域ボランティア）

藤尾智子（岩手県・地方行政公務員）

野澤桂子（仙台市・小学校教員）

11:15～11:25 時期開催地宣言（島根県）

11:25～ 閉会行事

11:45～ 融合研総会

フリートーク（語り尽くそう学社融合）を、20日（日）13:00頃から2時間くらいを予定しています。とくにテーマは定めませんが、学社融合を語り尽せるようにしたいと思いますので、時間の都合が付く方は残って語り合しましょう。

今回は、日程等の関係で「屋台フォーラム」は実施しません。実践例や紹介したい内容がございましたら、

分散会で資料を配布していただく

フリートークの時間帯をご活用ください。

また、これまで「年報」と「フォーラム要項」を合冊にしておりましたが、今回は合冊を止めて、「年報のみ」「フォーラム要項のみ」という形になります。

フォーラムの申し込みは、融合研ホームページから <http://www.yu-go.info/>

・開催場所の地図および申し込み受付については最終ページにあります。

・できるだけホームページからお申し込み下さい。折り返し「参加受付証」がメールで配信されます。

参加するときに、この「参加受付証」をプリントアウトして持参し、受付に提示して頂けると受け付け事務の混雑が緩和されますので、ご協力下さい。

・郵送およびファックスで申し込まれた方には、参加受付証が郵送されてきますので、受付にご提示ください。

お問い合わせは「融合研事務局」宮崎まで

(TEL/FAX) 043-463-1929 (アドレス) miyazaki@jb3.so-net.ne.jp

2 融合研の会計年度が変更になります。

これまで、会計年度を4月～3月というようになってきましたが、その承認をうける総会は8月に開催することが多い全国フォーラムに合わせて行って来ました。これでは、新しい年度になってから5ヶ月近くを経過していることとなります。そこで、できるだけ年度開始に合わせることができるよう、7月から新しい年度とするようにします。

したがって、17年度を「平成17年4月～平成18年3月」の承認を受けたあと18年度に限っては、便宜的に

平成18年4月～平成18年6月

平成18年7月～平成19年6月

に分けて、平成18年8月のフォーラムで行うということにします。

3 通信による総会

規約に基づく年1回の融合研の総会はフォーラムの際に行っています。しかし、フォーラムに参加できない会員にも総会で意思表示をしていただけるようにということで、通信による返信をもって総会に参加していただくということにさせていただいております。その返信分とフォーラムでの総会出席者を合わせて成立の運びとなります。

東京フォーラムに参加できない方で、「印刷物会員」は返信用の葉書に、また「メール会員」はホームページから、それぞれ必要事項を記入の上返信ください。ホームページでの投票は後日メーリングリストにてご連絡致します。

1 総会の議案

- (1) 平成17年度事業報告
- (2) 平成17年度決算報告
- (3) 平成18年度事業計画(案) (とがあります)
- (4) 平成18年度予算(案) (とがあります)
- (5) 平成18年度役員(案) (とがあります)

2 内容

(1) 平成17年度事業報告(「ゆうごう子ども教室」に関する内容は、特別なことを除いて記載しておりません)

- 17. 4. 16 事務局会議 場所; 仙台メディアテーク
 - ・高知フォーラムについて
 - ・地域子ども教室の運営について
- 5. 14 ~ 5. 15 千葉支部大会 場所; さわやか千葉県民プラザ
- 5. 21 「高知フォーラム最終打ち合わせ」 場所; 高知市
- 6. 10 「事務局会議」 場所; パンゲア
- 6. 25 北関東支部大会; 場所; 鹿沼市立北小他
- 8. 27 ~ 8. 28 融合フォーラム2005 in 高知
- 9. 11 役員会議・事務局会議 「東京フォーラムについて」 場所; パンゲア
- 9. 16 役員会議・東京フォーラム準備委員会会議 場所; 仙台メディアテーク
「ゆうごう子ども教室」運営委員会議終了後に開催
- 10. 15 東北・北海道支部大会 場所; 仙台市立黒松小学校
- 10. 16 「ゆうごう子ども教室」東日本地域実践発表会
東京フォーラム準備会議
- 11. 17 事務局会議 場所; パンゲア
- 12. 10 第一回東京フォーラム実行委員会会議 場所; 日本青年館
- 18. 2. 11 神奈川支部大会「厚木フォーラム」
- 2. 12 第二回東京フォーラム実行委員会会議 場所; 厚木市

(2) 平成17年度決算報告

収入の部・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,353,735円

(内訳)	繰越金	506,735円
	会費(3000円×242)	726,000円
	資料代	121,000円
支出の部		847,602円
(内訳)	通信費	123,720円
	会議費	27,000円
	事務用品	27,952円
	年報代	255,530円
	資料代	265,000円
	ドメイン料	75,600円
	交通費	72,800円
残高		506,133円

監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

監査 小山みさ
常田 洋

(3) 平成18年度事業計画(実施済み)「18年4月～6月」

- 18.5.14 こども教室運営会議 場所;仙台市大倉
5.20～5.21 千葉支部大会 場所;千葉市O V T A
5.21 第三回東京フォーラム実行委員会議 場所;秋津コミュニティ

(3) 平成18年度事業計画(案)「18年7月～19年6月」

- 18.8.19～8.20 28 融合フォーラム2005 in東京
10.14 東北・北海道支部大会 場所;仙台市立黒松小学校

(4) 平成18年度決算報告

収入の部		581,133円
(内訳)	繰越金	506,133円
	会費(3000円×25)	75,000円
支出の部		51,999円
(内訳)	通信費	3,050円
	会議費	5,000円
	事務用品	6,869円
	ドメイン料	35,280円
	交通費	1,800円
残高		529,134円

監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

監査 小山みさ
常田 洋

(4) 平成18年度予算案

収入の部 1,379,134円

(内訳) 繰越金・・・・・・・・・・・・・・・・529,134円
 会費(3000円×250)・・・・・・・・750,000円
 資料代・・・・・・・・・・・・・・・・100,000円

支出の部・・・・・・・・・・・・・・・・1,379,134円

(内訳) 通信費・・・・・・・・・・・・・・・・200,000円
 会議費・・・・・・・・・・・・・・・・30,000円
 事務用品・・・・・・・・・・・・・・・・40,000円
 年報代・・・・・・・・・・・・・・・・300,000円
 資料代・・・・・・・・・・・・・・・・300,000円
 ドメイン料・・・・・・・・・・・・36,000円
 交通費・・・・・・・・・・・・・・・・50,000円
 東京大会経費・・・・・・・・100,000円
 予備費・・・・・・・・・・・・323,134円

(5) 平成18年度役員(案)

役員案については、とを一括して提案します。

会 長	宮崎 稔	(習志野市立鷺沼小学校)
副会長	岸 裕司	(習志野市秋津コミュニティ)
同	油谷雅次	(大阪府北貝塚小学校コミュニティルーム運営委員会)
同	野沢令照	(仙台市立黒松小学校)
同	渡辺喜久	(静岡県芝川町立芝川中学校)
監 事	小山みさ	(市川市コミュニティクラブ)
同	常田 洋	(市川市コミュニティクラブ)
プログラム研究開発 委員長	越田幸洋	(学社融合研究所)

事務局員については、現在検討中です。総会には提案できると思います。

上記の内容について、「ご意見」「ご質問」のある方は、東京フォーラムでの総会までに、事務局へご連絡ください。議題としてとりあげさせていただきます。

印刷物会員には、同封した葉書を返送していただきます。メール会員は、ホームページから返信してください。

いずれの返信締切日も、集計作業の都合上8/16(水)(当日着)までとさせていただきます。

4 会員継続の更新について

手続き完了日；東京大会まで。

融合研は、職場の配置転換等で会員としての活動が難しくなった人や個人的な諸事情で会員の継続が困難になった人を、むりやり会員として引き留めておくということをしな(いわゆる「幽霊会員をつくらない」ということが確認されています。したがって、毎年、「今年も会員の継続をするかどうか」ということの確認を行っています。事務手続きが煩雑になりか

もしれませんが、「通信による総会」の案内と一緒に返信をつけてありますので、

メール会員は、ホームページからお返事ください。

郵送会員は、同封の葉書でお返事ください。

退会する方も、ご一報ください。

継続する方は、年会費(3,000円)の納入もよろしく御願います。

すでに、18年4月以降に手続きをお済みの方は、連絡しなくても結構です。

5 ゆうごう子ども教室の概要

「ゆうごう子ども教室」は、今年は35箇所に加え、活動もさらに充実したものがあらわれて来ています。子ども教室を実施されていない方も、活動の内容は参考になるものがたくさんあります。

ぜひ、みなさんにご覧いただきたく、メール会員には再掲になりますが、チーフコーディネーターでもある越田さんからのメールをお知らせします。

(以下が越田さんからのメールです)

学社融合研究所の越田です。

地域子ども教室融合研運営協議会では、チーフコーディネーターを務めています。今日は、地域子ども教室融合研運営協議会が全国35箇所で開催している「ゆうごう子ども教室」のブログのご紹介です。

今朝、ブログ

<http://blog.goo.ne.jp/yugo-kodomo/>

を開いたら、千葉四街道のまじゅりんこさんの日誌が掲載されていました。「まじゅりんこがずっとここに有って欲しいから。」小学生の女の子がそう言いながら友達と一緒に花壇の手入れをしていました。花壇の手入れが終わると年下の男の子やさぼおとさんと一緒に草取りを始めました。足腰の弱い年配の方が手押し車を押して洗面所を借してもらいに来ました。その方が建物の中に入ると草取りをしていた女の子は、手押し車の向きを変え、その方が外に出てきたときにそのまま押していけるようにしていました。素敵でしょう。手押し車の向きを変えた女の子。そしてその女の子の行動を見逃さなかったさぼおとさんもまたまた素敵でしょ。ゆうごう子ども教室のブログには、こんなドラマがいっぱい載っています。

一度ブログを開き、お気に入り登録してください。そして時々訪問しゆうごう子ども教室に起きるドラマを楽しんでください。ご覧になった感想は、ブログのコメント欄に投稿してください。または、この融合研MLで発信してください。皆さんのコメント発信でゆうごう子ども教室の関係者がますます張り切ってくれると思います。コメントをよろしくお願いします。

いかがですか？ステキでしょう。

6 その他 ; 2009年度以降のフォーラム開催の立候補を受け付けます

支部や近隣の人と相談したりして手を挙げてください。あるいは、自分ひとりだけでも、その意向がある方は、「事務局へとりあえず相談」してみてください。「2010年度以降なら」という地域でも構いません。「今は、まだあまり推進されていない・・・」という地域でも結構です。フォーラムを機会に、融合の推進が図られたという地域もごさいます。どうぞ、奮ってご応募ください。

編集後記(のようなもの)

会報32号をお届けします。いよいよ8月には10回目になる記念の融合フォーラムが開催されます。会員のできるだけ多くの参加により、サブテーマにあります「学社融合の10年の歩みと今後を探る」とともに、テーマの「学校が変わる・地域が変わる・そして私が変わる」ためのさらなる力強い一歩になることを期待します。と共に、それぞれの場でのより充実した活動を祈念しています。

今回の会報は、前回発行の31号から日が経っていませんでしたが、会計年度が変更になりましたので、東京フォーラムの募集等と合わせた内容を中心にしてお届けしました。

(M)

融合フォーラム 2006in 東京参加申込み書

ホームページからも申込できます <http://www.yu-go.info/>

FAX または郵便での申込は、この用紙にご記入の上 F A X 又は下記にお送り下さい
宛先：〒285-0843 千葉県佐倉市中志津 7-17-4 融合研 宮崎雅子
(Tel & FAX) 043-463-1929
FAX または郵便での申込には後日「参加証」をお送りいたします

1 融合研会員ですか？	はい(会員番号) いいえ		
2 お名前			
3 ふりがな		4 性別	男 女
5 連絡先	郵便番号		
6 連絡先電話番号・FAX 番号	Fax		
7 宿泊を希望されますか？	する しない		
8 参加形態	一般 学生		
9 懇親会に参加しますか？ (せり市など楽しい行事があります)	する しない		

*「申込者」は、会場の都合により先着 250 名になり次第締め切ります。お早めにお申込ください。
(参加費)

参加費

会 員		非 会 員	
一 般	学 生	一 般	学 生
3,000 円	1,500 円	4,000 円	2,000 円

* 懇親会費(一律 5,000 円)は当日受付で頂きます

* 昼食は主催者では準備致しません。会場内外の食堂等ご利用ください。

宿泊費(7,000 円)朝食付です

フォーラム会場(宿泊も同じ)日本青年館
住所〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町7-1
Tel 03-3401-0101 fax03-3404-0611
発表資料・せり市用名産品は上記で受付ます。
8月18日(金)必着でお送りください。
発表資料はA4版を原則とします。各自で印刷してお持ちください。
表題横に「融合フォーラム 2006in 東京」とご記入ください。
発表資料が「融合研年報」や「融合事例集」への転載が「不許可」の方は、その旨をご記入ください。

申し込み締め切り8月12日(土)

13日以降の宿泊のキャンセルは、キャンセル料をいただくことになります

会場案内

会場名 日本青年館(フォーラム・懇親会)

宿泊 日本青年館(希望者のみ)

所在地 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号
TEL: 03-3401-0101(ホテル代表) 03-3475-2550(総務)
FAX: 03-3404-0611(ホテル) 03-3475-6605(総務)

Web サイト <http://www.nippon-seinenkan.or.jp/>

交通アクセス



● 電車の場合

- ・JR 中央・総武線各駅停車 千駄ヶ谷駅より徒歩9分 信濃町駅より徒歩9分
- ・地下鉄銀座線 外苑前駅より徒歩7分(渋谷寄り改札口を出て、3番出口)
- ・地下鉄大江戸線 国立競技場駅より徒歩7分(A-2出口)

● お車の場合

- ・首都高速道路4号線 外苑ランプ(上下線)
- ・首都高速道路3号線 渋谷ランプ、または池尻ランプ(上り) 3号線高樹町ランプ(下り)